

ケンブリッジ 英語検定



(株)城南進学研究社のグループ会社である英語テストの専門企業(株)JLTCは、ケンブリッジ英語検定機構の認定試験センターです。多くの小学校～高校で、ケンブリッジ英検を実施するお手伝いをしています。



ケンブリッジ英語検定とは

イギリスの名門ケンブリッジ大学の一部門「ケンブリッジ大学英語検定機構 (Cambridge Assessment English)」が開発・実施し、100年以上の歴史を持つグローバルスタンダードの試験です。CEFR完全準拠で、「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能を適正に評価します。日本ではまだなじみの薄い試験ですが、英語4技能の能力が求められる今、ケンブリッジ英検を目指して勉強することは、大変意義があると言えます。

ケンブリッジ英検

5つのオンリーONE

1 世界130カ国・年間250万人が受検する、英語テストの権威

海外のトップ大学の入学資格としても利用され、世界130カ国で年間250万人が受検しています。

2 セファール CEFRに完全準拠し、世界基準で英語力が明確に測れる

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) とは、言語能力評価の国際指標です。日本の小中高生の英語力も、今後このCEFRで測られます。CEFRはケンブリッジ英検の開発過程で生まれた指標のため、出題もCEFRに完全準拠した内容になっています。

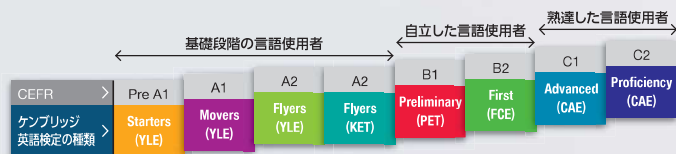
3 ペアタスク型スピーキングテストを導入

リアルな場面を想定して、受検者2名がペアになって試験に臨みます。吹き込み式や、質問への一方的な回答のみではなく、双方向でのコミュニケーションスキルを重視しており、受検者同士のやり取りを含めて評価の対象になります。



4 全レベルの受検者に対応

CEFRが設定しているA1・A2・B1・B2・C1・C2の6段階すべてのレベルにおいて、技能を評価します。また、生涯にわたって英語を学習する視点で作られた試験で、受検者の進路や目的に応じてレベルを選択できます。試験結果は生涯有効です。



5 スクール版試験があり、大学入試で活用できる

高校・大学・短大など、入学選抜に活用する教育機関が増えているほか、2024年の実施が検討されている大学入試センターによる「大学入試英語成績提供システム」でも活用できます。

“for school”

- KET**
CEFR A2レベル、英検準2級レベル
- PET**
CEFR B1レベル、英検2級レベル
- FCE**
CEFR B2レベル、英検準1級レベル

城南進研グループでケンブリッジ英検を受検するメリット

1
少人数(8名～)でも対応可能

まずは
トライアルとして導入することも可能です。

2
スカイプを使ったケンブリッジ英検対策が可能

オンライン英会話「Prime Talk®」を使ったケンブリッジ英検対策用の授業やテキストの利用が可能です(有料)。



中学・高校での導入事例

都立日比谷高校 高1全員(PET)・高2全員(FCE)
ほか、工学院中高、三田国際中高、同志社国際中高、ラサール学園(鹿児島)など

教員向けテスト

「TKT」にも対応!

(Teaching Knowledge Test / 英語教授知識認定テスト)

英語を母国語としない生徒に英語を教える能力を評価する、ケンブリッジ大学英語検定機構が開発した資格テストです。TKT対策を行うことで、英語教育に必要な英語の用法・英語教育と学習の背景・実践に関する基本的な考え方を身につけることができます。